

ごうつ

市議会だより

題字：泉 ^{いずみ} 寧央 ^{ねお}さん（桜江小学校6年）



2016.8
No.128

二宮町神主の多鳩神社

議会の新体制決まる

平成28年第3回定例会初日に行われた正副議長選挙の結果、新議長に田中直文議員、新副議長に森脇悦朗議員を選出したほか、監査委員に藤間義明議員を選出し、各常任委員会、議会運営委員会、各特別委員会のメンバーが決まりました。

正副議長就任あいさつ



議長
田中 直文

この度、議員の皆さんの推挙により議長に就任させていただきました。大変光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感しています。

市政推進のための二元代表制の一翼を担う議会として、議事機能及び監視機能を充実させ、議会の公正かつ適切な運営に努め、江津市の発展と江津市民の民生安定のため誠心誠意努力をいたします。

また、今まで進めてきた議会改革を、市民の目線に立ち、さらなる改革を推し進め、活性化を図り、開かれた議会を目指します。厳しい財政状況下での市政運営でありますが、焦眉の急は「地方創生・人口減少対策」です。将来を見据えて提言できる議会といえます。

市民の皆様の負託にこたえるべく、「安心」と「活力」を実感できるまちづくりを進めてまいります。

よろしくご支援のほどお願いいたします。



副議長
森脇 悦朗

この度は、本市議会副議長の栄職に就かせていただくことになり、その責務の重さを深く受け止めております。

今後は、議長を代理する職であることを念頭におきながらも、市政の発展と議会の公正かつ円滑な運営を心掛け、誠心誠意努力してまいります。

また、人口減少社会における地方創生の取り組みの中で策定された「江津市版総合戦略」の実施に当たっては、議会といたしましてもチェック機能を十分発揮し、確実な推進を目指してまいります。

合わせてこれまで実施してきた議会報告会を充実し、市民の皆様からの意見・ご提言を政策に反映すべく、政策立案力を高める環境づくりと、各議員の資質の向上を目指す各種研修会の充実など、本議会の抱える課題解決に向けて、全力で取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

投票結果

◆議長選挙

投票総数14票

- ・田中 直文 8票
- ・土井 正人 4票
- ・森川 佳英 2票

◆副議長選挙

投票総数14票

- ・森脇 悦朗 8票
- ・永岡 静馬 4票
- ・多田 伸治 2票

表彰

◆全国市議会議長会

〔正副議長歴4年以上〕

河野 正行

〔議員歴10年以上〕

森脇 悦朗
島田 修二
石橋 孝義

◆中国市議会議長会

〔正副議長歴3年以上〕

藤田 厚

人事

◆監査委員

藤間 義明

各委員会構成



予算委員会

◎河野 正行 ○鍛治恵巳子 委員は議長・監査委員除く全議員

議会運営委員会

◎藤田 厚 ○田中 利徳 坪内 凉二 多田 伸治 森脇 悦朗 河野 正行

地域医療対策特別委員会	議会広報・情報公開対策特別委員会	議会改革特別委員会	波積ダム対策特別委員会
◎土井 正人 ○河野 正行 鍛治恵巳子 田中 利徳 森川 佳英 島田 修二	◎河野 正行 ○坪内 凉二 鍛治恵巳子 多田 伸治 藤間 義明 森脇 悦朗	◎永岡 静馬 ○坪内 凉二 多田 伸治 森脇 悦朗 島田 修二 石橋 孝義	◎島田 修二 ○土井 正人 多田 伸治 藤間 義明 石橋 孝義 永岡 静馬

◎：委員長 ○：副委員長

平成28年度一般会計補正予算

可決

補正額 6,714万円

(総額157億5,986万円)

保育業務効率化推進事業

732万円



(和木保育所)

問 どのようなシステムを導入するのか、また、ビデオカメラはどこに設置するのか。

答 保育所によって違うが、保育士の日誌等の事務を簡易化するためのソフトを導入する。また、ビデオカメラは事故防止と原因の究明のため、10万円の予算を上限として設置する。

担い手育成対策事業

2,704万円



(コケの栽培)

問 コケビジネスの経営状況はどうか。また、水稲に比した収益性はどうか。

答 まだ儲けのある事業体は少ない。しかし、水稲に比べ、耕作機械がいない分、収益性は高い。

風の国施設維持管理事業

300万円

問 人材育成などの予算を追加しているが、いつから黒字になるのか。

答 地域にとって大切な施設であり、人材を育成して、次年度以降黒字化したい。

防災情報伝達システム管理費

144万円

問 防災無線のデジタル化は。

答 アナログのリミットは平成34年11月末。デジタル化のスケジュールは決まっていない。

委員会ピックアップ

総務文教委員会

消防団員等公務災害補償条例の一部を改正

=内容=

消防団員の公務災害による損害補償給付に対し同一の理由で公的年金給付が併給される場合は、損害補償給付に調整率を乗じた額を支給している。政令改定による調整率の改正を行うもの。

《委員質問》

問 過去に給付が行われたことがあるか。もし、同様の事例が起きた場合どのくらい給付が行われるのか。

答 過去に実例はない。手続きは東京の消防団員等公務災害補償等共済基金で行い、給付金額は個人の年金の額などにより異なる。

建設厚生委員会

家庭的保育事業等の設備 及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正

=内容=

建築基準法施行令の一部改正に伴い、国の定める家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正され、整合性を図るため所要の改正を行う。

《委員質問》

問 一般家庭の建築物、それを特殊建築物として扱った時の火災時における排煙についての改正か。

答 今回の改正は、4階以上の建物について、火災の場合における排煙機能の精度が上がっているため改正するもの。

江津市勤労青少年ホーム条例を廃止

=内容=

利用者の減少、施設の老朽化により、修繕費等の増加が見込まれ、平成28年9月末をもって施設の廃止を予定しているため、条例を廃止する。

《委員質問》

問 現在利用している講座等は引き続きどこかで行えるのか。

答 どのようにしていくか協議している。

議 決 結 果

議案に対する議員の賛否

第二回臨時会																	
議案番号	件 名	議決結果	坪内涼二	鍛冶恵巳子	田中利徳	多田伸治	森川佳英	藤間義明	森脇悦朗	島田修二	石橋孝義	河野正行	藤田厚	土井正人	永岡静馬	田中直文	
報告第1号	専決処分報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	—															
承認第1号	専決処分報告について（平成27年度江津市一般会計補正予算（第7号）を定めることについて）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長職は 表決権なし	○	○	○
承認第2号	専決処分報告について（平成27年度江津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）を定めることについて）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
承認第3号	専決処分報告について（平成27年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）を定めることについて）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
承認第4号	専決処分報告について（平成27年度江津市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）を定めることについて）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
承認第5号	専決処分報告について（平成27年度江津市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）を定めることについて）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
承認第6号	専決処分報告について（江津市税条例及び江津市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
承認第7号	専決処分報告について（平成28年度江津市一般会計補正予算（第1号）を定めることについて）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
議案第44号	工事請負契約の変更契約の締結について（江津駅前市民交流施設新築工事（建築）に係る変更契約）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
議案第45号	工事請負契約の変更契約の締結について（江津駅前市民交流施設新築工事（電気設備）に係る変更契約）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	

第三回定例会

報告第2号	平成27年度江津市一般会計繰越明許費繰越の報告について	—															
報告第3号	平成27年度江津市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越の報告について	—															
報告第4号	平成27年度江津市公共下水道事業特別会計継続費繰越の報告について	—															
報告第5号	平成27年度江津市水道事業会計予算繰越の報告について	—															
議案第46号	江津市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長職は 表決権なし	○	○	○
議案第47号	江津市子育てサポートセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
議案第48号	江津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
議案第49号	江津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
議案第50号	江津市勤労青少年ホーム条例を廃止する条例制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
議案第51号	江津市手数料条例の一部を改正する条例制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
議案第52号	平成28年度江津市一般会計補正予算（第2号）を定めることについて	〃	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○		○	○	
議案第53号	工事請負契約の締結について（島の星クリーンセンター浸出水処理施設改修工事）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
議案第54号	工事請負契約の締結について（江津市コミュニティセンター耐震改修工事（建築））	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
同意第4号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	斥	○	○	○	○	○		○	○	
同意第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
陳情第3号	子どもの医療費の中学校卒業までの無料化を求めることについて	不採択	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●		●	●	
意見第1号	子どもの医療費無料化に国の支援を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	

○ 賛成 ● 反対 △ 欠席 斥 除斥

本会議における賛成・反対意見

陳情第3号 子どもの医療費中学卒業までの無料化を求めること

不採択

<p>反対・鍛治恵巳子</p>	<p>財源の確保や地域医療体制などの課題があり、本市による実施は困難である。こうした自治体間で、財政基盤や地域状況により格差が生じないよう、医療費の無料化については、県および国に対して、しっかりとした制度の構築を求めるべきであり反対。</p>	<p>賛成・多田伸治</p>	<p>地方自治において、2,355筆もの陳情署名は無視できない。市予算は160億円あり、医療費無料化に必要な3,000万円は出せない額ではなく、無料化した邑南町では「コンビニ受診は増加していない」とされ、反対理由にはならない。多くの議員が「子育て支援の充実の推進」などの公約を掲げており、陳情に賛成すべき。</p>
-----------------	---	----------------	---

議案第52号 平成28年度一般会計補正予算

可決

<p>反対・森川佳英</p>	<p>補正予算案には風の国への300万円が含まれるが、風の国には過去5年間だけでも1億5,000万円を支援しながら、赤字から脱却できていない。これは指定管理者制度の「住民サービスの向上と経費削減」との目的から外れている。加えて、「今後の存続を市民に問う考えはない」と答弁しているため、予算案には反対。</p>	<p>賛成・坪内涼一</p>	<p>本補正予算は、農林水産業費、商工費、教育費などを中心に編成されたもの。保育士の業務負担軽減を目的としたシステム導入や学校施設の修繕は保育及び教育環境を改善することで、子ども達が安心して過ごすことのできる環境を作る上で必要な予算。その他の予算についても、今後の市民生活及び産業振興に必要であり賛成。</p>
----------------	--	----------------	---



国へ意見書を提出しました

●子どもの医療費無料化に国の支援を求める意見書

1. 子どもの医療費助成の対象年齢を義務教育終了までとした、全国統一の医療費無料化制度の創設など、医療費助成の更なる拡充を図るとともに、財源の確保に努めること。
2. 国民健康保険事業の療養給付費に対する定率国庫負担金が、自治体による子ども医療費助成の実施に伴って減額される仕組みを改めること。

市議の 市のA&Q

江津市をもっと

暮らしやすくするには、

こうしたらいいな

一 般 質 問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

※一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」↓「会議録検索」から見る事ができます。（ただし掲載は次期定例会の前になります）

放課後児童クラブ 開所時間の延長を



鍛治恵巳子

Q 放課後児童クラブの入所時間の延長の推進を。

A 支援員の確保などが課題。急用の場合は、若干の延長には対応している。

【子育て両立支援】

Q 3世代同居・近居のリフォーム・新築へ助成を行うとともに、新税制上の3世代同居の負担軽減措置の広報を。

A 国・県の取り組み状況を踏ま

え、検討を進める。

【交通安全対策】

Q 警報・注意報などを、自治体・コミュニティに届くよう対策を。

A 防災無線で市民へ周知並びに注意喚起を行っている。

Q 小中学生・家庭への自転車の安全指導の徹底を。

A 各小学校で4・5月に交通安全教室を開催。学級担任・生徒指導主任による指導も行う。



のびのび遊ぶ子どもたち

子どもを取り巻く、 教育環境の改善・ 充実について



田中 利徳

Q 院展の観賞をより多くの児童・生徒に。

A 今井美術館の配慮で、児童・生徒は無料となっている。さらに要望があれば、スクールバスの臨時運行の対応を取っている。

Q 学力向上には、家庭学習の充実が不可欠。具体的対策は。

A 家庭学習の必要性やあり



拡幅が難しい、手狭な市立図書館駐車場

Q 市立図書館駐車場の拡幅を。

A 現所在地では、土地の形状から拡幅するのは難しい。

方などについては、家庭へ情報を提供し、家庭と連携しながら家庭学習の充実に取り組んでいる。具体的には「家庭学習の手引き」を作成し、保護者へも配布している。子ども達には「自主学習ノート」を配布し、学習意欲の向上を図っている。

市道の安全対策 連携の枠組みを 提案



多田 伸治

Q 邑南町の県道での落石事故は、市道でも起こりうる。事故後にとった対策は。

A 市道33路線84力所で目視確認を行った。今後は緊急性の高い順に対応を検討する。

Q 不要不急の道路建設は控え、生活道路の維持・補修中心の土木行政への転換を。

A 市道山中線開通後は、長



落石事故翌日の現場（邑南町戸河内）

寿命化対策に力を入れている。

Q 危険箇所を把握している地域住民・建設事業者・林業従事者と連携する枠組みの構築を提案する。費用をかけた情報収集ができ、地域密着型の公共事業の継続的実施で、建設業の振興にもつながる。市の見解は。

A パトロールだけでは、補修箇所の確認は困難で、市民の要望・通報に頼るところが大きい。交通量の少ない市道では、建設事業者・林業従事者の通行が多く、異常があれば市へ連絡をもらえる仕組みづくりが必要と考える。

パレットごうつ 利用促進で にぎわい創出を



坪内 涼二

Q 「パレットごうつ」で実施するにぎわい創出事業は。

A UDC52（アーバンデザインセンターごうつ）と名付けた。まちづくりの活動拠点を設置し、まちづくり活動の促進と、施設利用者拡大に努める。

Q 高浜地区の地域活動拠点としての利用はできないか。

A 地元の高浜地区が「パレ



8月1日から供用開始される「パレットごうつ」

トごうつ」を使って、様々な活動していくことは、江津駅前のにぎわい創出、施設の利用促進にもつながる。一般利用と同様に施設を利用して頂きたい。

【移動投票所導入】

Q 浜田市で導入される移動投票所を、本市でも導入できないか。

A 浜田市の投票状況や選挙結果を踏まえ、その効果を検証し、投票所の再編と併せて検討したい。

小中学校の教室 にエアコンを



森川 佳英

Q 昨年6月の質問でも教室へのエアコン設置を求めたが、扇風機を設置するとされた。その後の検証は。

A 各教室へ2台の扇風機を設置した。窓を開けて空気を循環させ、体感温度を下げることで、授業への集中力が高まることが期待できる。

Q 市役所庁舎でのエアコンの設置・使用の状況は。

A 全庁舎にエアコンを設置し、利用日数は夏冬それぞれ70日。

Q 市役所はエアコンなのに教室は扇風機。環境に大きな格差がある。教室へのエアコン設置を求め

A 全ての教室へのエアコン設置には、3億2000万円弱の費用と年間750万円弱の電気料がかかる。環境整備は重要だが、耐震化や老朽化への安全確保の観点から、優先しなければならない課題が多く、実現できない状況。



小学校で使用している扇風機

A 同じにするため保育士確保に努め、検討していく。

Q 仕事と子育ての両立の支援で、公立保育所の延長開所時間を私立保育所と同じにできないか。

A 私立の保育士給料は3年間連続で上がり、保育士確保の一助となり、安心して児童を預けられるようになると思っている。

Q 保育所での保育士の処遇改善状況は。



藤間 義明

子育て支援 しっかりと



のぞみ保育園

A 保育料、不妊治療、多子世帯へ本市の特色ある軽減策を行っている。また医療費軽減は財源の目途がつけば、子育て支援の観点からも実施可能。

Q 子育てコストの軽減は。

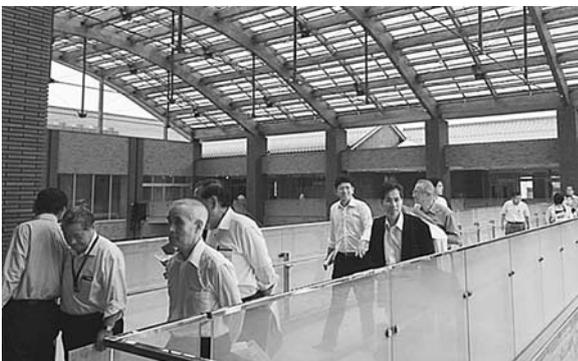
A 支援員が出産後の再就職支援、職場で安心して活躍できるように支援制度や取り組みを事業所に紹介する。

Q 仕事と子育ての両立支援で、事業所への働きかけは。

議員活動レポート

パレットごうつ内覧会

(全議員対象)



6月23日、江津駅前に整備中の「江津ひと・まちプラザ」（愛称：パレットごうつ）の内覧会に出席しました。充実した施設設備であることを確認し、今後のにぎわい創出の拠点として、活用されることが期待されます。

ヒラメ稚魚放流体験

(建設厚生委員会)



6月30日、高角小学校5年生45名を対象に「ヒラメ放流体験」が行われ、建設厚生委員会メンバーが参加しました。採る漁業からつくり育てる漁業を推進するため、放流体験を通し、栽培漁業の重要性を児童のみなさんと体感しました。

第7回 議会報告会を開催

議会報告会を5月13日から21日にかけて、市内4カ所で開催しました。3月議会の報告に加え、「地域コミュニティ」などをテーマとしたパネルディスカッションを行いました。また参加した市民のみなさんからの意見をお聞きしての意見交換も行いました。



黒松会場

第1部【3月定例会の報告】

3月議会での委員会審査や本会議での議決の状況を報告しました。詳しくは「市議会だより127号」に掲載していますので省略します。

第2部【パネルディスカッション】

黒松・渡津・谷住郷会場では「地域コミュニティについて」、二宮会場では「西部統合小学校について」をテーマに各議員が自身の意見を述べました。

黒松会場	<ul style="list-style-type: none"> ●マネージャーの企画力が必要。マネージャーの確保が課題。行政が地域に丸投げしてはいけない。もう少し、行政職員が地域に入るべき。 ●地域コミュニティ活性化には若い力が必要。若者世代を巻き込む方策が重要。また市全体で各地域の取り組み、先進事例を共有し、コミュニティ間の連携を深めるべき。 ●黒松には美しい海や夏の祭りがある。人口減少が進む中、準備し、伝統文化を守っている。交流人口増、PRが必要。細くても長く続けるためにも守って頂きたい。
渡津会場	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少で地域が成り立たない。財源においては、市が全面的に責任を持つべき。 ●10年先の姿を見据え、それぞれの地域の問題点を解決することが必要。課題解決のため知恵を出し、探る。 ●10年・20年・30年先の地域を考えたとき、中心になれる人と組織形成をする必要がある。一つの問題を解決したら、次の問題を解決し、一つ一つ解決していくしかない。
二宮会場	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校の近くに小学校ができると小中一貫教育ができるので良い方向で、モデル校になってほしい。必要以上に金を費やすべきではない。 ●津宮小と川波小の統合は子どもにとってよくないので建設反対。学校の建て替えより、今の現状を改修すべき。 ●建設には賛成であるが、立派に作りすぎることはない。校舎を建て替えるだけでは教育はよくならない。
谷住郷会場	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、活動している世代から若い世代で引き継ぐことが大切。その基盤となる家族や親子のコミュニティも大切。 ●地域の特色を生かして自立することが大事。有害鳥獣対策や収益事業を通して、地域が自立できるよう活動してほしい。 ●5～10年後に向けて世代交代をどのようにするかが大きな課題。 ●「小さな町づくり」をすることが重要。人材のバトンタッチをするためには若い世代を育てることや埋もれている人材の掘り起こしも大切。

第3部【意見交換会】参加者との意見交換の中から、主なものを記載します。

黒松会場	<p>問 200年続いている黒松の祭を市の指定文化財にできないか。</p> <p>答 伝統がある行事だということ黒松地区以外の市民は知らない。もっと発信をし、市全体で守るべきものとの認知していくべき。</p> <p>問 危険空き家に対する対策は。</p> <p>答 空き家に関する条例を検討中。条例による対策はこれからの課題。</p>
渡津会場	<p>問 地域医療への支援は、ハード面の支援ばかりで、ソフト面についてどうにかすべきでは。</p> <p>答 過疎地域の医師・看護師不足については、国や県が責任を持つべき。</p>
二宮会場	<p>問 累積赤字は、第2の夕張にならないか。</p> <p>答 約200億円、箱物行政の影響。本当に必要なものにお金を使う。</p> <p>答 財政の健全化を図っている。4年前15億円だった基金残高が現在は40億円近くに増えている。</p> <p>問 市の周辺部の人口が少なくなってきている。地域の灯を消さないようにしてほしい。</p> <p>答 市長の施政方針で農業従事者の収入を増やすと言っている。公共交通の整備についても質問をしていく。</p> <p>答 農業の施策を展開している。まだまだ対策を取るよう訴えていく。</p>
谷住郷会場	<p>問 公共施設の見直しはどうなっているか。「水の国」の利活用を含め、見直しをする必要があるが、どのような議論になっているのか。</p> <p>答 公共施設の見直しについて先進地視察も行っている。</p> <p>答 「水の国」は、教育文化施設であり、収益は求めることができない。今後どのように活用していくかが問題だが、現状維持の状態。</p> <p>問 学力日本一の秋田県への視察は、教員が視察に行かなければ意味がないのではないか。</p> <p>答 先進地視察に教育委員会指導主事が同行し、「秋田方式」の授業の仕方を指導している。</p>

報告会で寄せられたご意見を

市長へ届けました

市長への意見書（要約）

- 解体できない危険な空き家に対しての対策を。
- 黒松の海について、漁業特区を検討してはどうか。
- 浜の砂が多く、河川がつまり。
- 地域医療、済生会江津総合病院への支援が出ているが、ハード面だけでなく、ソフト面について工夫できないか。
- 歳入が少なくなっているが、保育士の確保は大丈夫か。
- 桜江地域には「水の国」があるが、利活用を含めて見直しをする必要があるが、どうなっているか。
- 小中学校の学力低下をどのように考えているか。今、児童生徒にしっかりと学力をつけることが江津市の将来の基盤を作ることになる。
- 済生会江津総合病院への支援は効果が上がっているのか。市民の大切な税金を投入しているのだが、検証はしているのか。

【表紙について】

今回発行分より2年間（8回発行）、編集委員会委員がそれぞれの回を担当し、『江津市にある素晴らしいもの、自慢できるもの』をテーマに表紙を飾ることとしました。市民の皆様が江津市のすばらしさを再認識していただけたらと思います。

【多鳩神社とナギの木】

石見の国の二宮にある多鳩神社の創祠については、祭神積羽八重事代主命が父神の大国主命から石見国の開拓を命じられ、多鳩山、現在の天狗山古瀬谷に鎮座されたのが始まりで、積羽八重事代主命は、北西の日本海を眼下に見渡してご守護され、農業・商業や漁業などの産業をお導きになった神様です。文安年中（1444～1448年）に天狗山の古瀬谷から山麓の現在地に遷宮され、現在に至ります。

江津市の天然記念物に指定されている社務所横にあるナギの木は、昔から縁起の良い木とされ、穂やかで平安な生活や、船乗りには凧いだ海での航海の安全、旅人には災難を打ち払い旅の安全などのご利益があると言われ、その丈夫さから「人と人の縁が切れない」、また、裏も表も同じようなので、夫婦で持っている「裏表のない夫婦でいられる」と言われています。



天然記念物ナギの木

次回 9 月 定 例 会

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	9/1	2	3
	全員協議会			委員会 (議会運営)		
4	5	6	7	8	9	10
	本会議	議員連絡会		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
11	12	13	14	15	16	17
	委員会 (総務文教)	委員会 (建設厚生)	委員会 (予算)	特別委員会 (決算)	特別委員会 (決算)	
18	19	20	21	22	23	24
		特別委員会 (決算)	特別委員会 (決算)		情報交換会	
25	26	27	28	29	30	10/1
		本会議				

請願・陳情締切 8月25日午前中まで

議会を傍聴しよう

江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁3階の議会事務局までお越し下さい。

議会に参加しよう

議会に対して陳情などを提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

編集後記

2004年7月23日に、理研・仁科加速器研究センターの森田浩介准主任研究員により合成・発見された113番目の元素に先日、『「ホーニウム」という日本初の元素名が命名されました。合成・発見に至るまで、400兆回にわたる実験の末の成果です。英知の粋を集集し、つかんだ成果の裏に、113円の賽銭を握りしめ、神頼みに歩いたというエピソードに、日本の心を感じます。

今回、市議会の慣例により、議長・副議長を選出し、議会だより編集委員会も新たなメンバーとなりました。江津市民の皆様の負託にこたえるべく、自己研鑽を行い、より皆様の心に響く紙面になればと思います。
(河野正行)

編集・発行責任者

議長 田中 直文

議会広報・情報公開
対策特別委員会

- 委員長 河野 正行
- 副委員長 坪内 涼二
- 委員 鍛冶恵巳子
- 委員 多田 伸治
- 委員 藤間 義明
- 委員 森脇 悦朗